

大船渡発

三陸さんまつり

不漁のため延期されていた「三陸大船渡さんまつり」が市の産業まつりとともに1か月遅れで開催されました。今年で31回目となる「さんまつり」は先月17日に開催予定でした。しかし今年は水揚げ量が



例年の半分以下。このため価格が高騰しているため、まつりでも去年の倍の1匹200円で売られました。それでも会場のサンマを焼く香ばしい匂いに、訪れた人たちはさっそく炭火焼きサンマを買い求め堪能していました。(10/21)



釜石発

寺の本堂でクラシック

被災地の人たちを音楽で元気づけようと釜石市の石応禅寺で4人の音楽家による演奏会が開かれました。市民有志が実行委員会を組織し企画したもので、およそ70人が寺の本堂に集まりました。ピアノやバイオリン、フルートそしてソプラノ歌手から成るユニット「スプリング・リズム」の4人が12曲を披露。クラシックのほか、なじみ深い童謡などが演奏され、訪れた人たちは寺の本堂に響く温かな音楽に聞き入っていました。(10/21)



陸前高田発

かさ上げ地で避難訓練

陸前高田市のかさ上げ地に今年4月にオープンした複合商業施設「アバッセたかた」と隣接する市立図書館で初めての津波避難訓練が行われました。



参加した店員ら60人は全員が店内から出たことを確認したあと、150メートルほど離れた高台の本丸公園に避難しました。訓練で参加者は避難経路や自分の役割を改めて確認していました。(10/25)

陸前高田発

幼いマツに会いに行こう

滝沢や紫波、花巻など内陸に避難している震災被災者20人が復興の様子を見学するツアーで再生に向け植樹が進む高田松原を訪れました。このツアー



は被災者支援活動を行っているNPO法人が内陸避難者に故郷とのつながりを持ち続けてほしいと企画したものです。あいにくの雨の

ため防潮堤からの見学でしたが、参加者は今年から植樹が始まり、これまでにおよそ3000本のマツが植えられた様子に感慨深げでした。(10/29)

陸前高田発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

陸前高田災害FMの菅野陽子さんが、「一中仮設BAPPA(バッパ)ダンサーズ」について伝えてくれました。これは高田一中仮設住宅にお住いの60代から80代の女性たち19人を中心に結成されたダンスグループで、「バッパ」はおばあちゃんの意味です。今年6月には気仙大工左官伝承館で踊りが披露され、その踊りは「世界中の誰かのために」で検索するとYouTubeで見ることができます。白いかわいらしい着姿がとてもキュートだそうです。東日本大震災で、国内外から多くの支援をいただいたお礼に、今度は被災地から元気を発信しようと、メンバーたちは張り切っているという事です。(10/25)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122